

保存版



津波・高潮

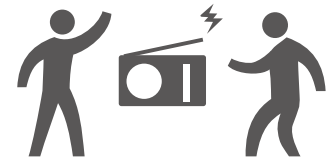
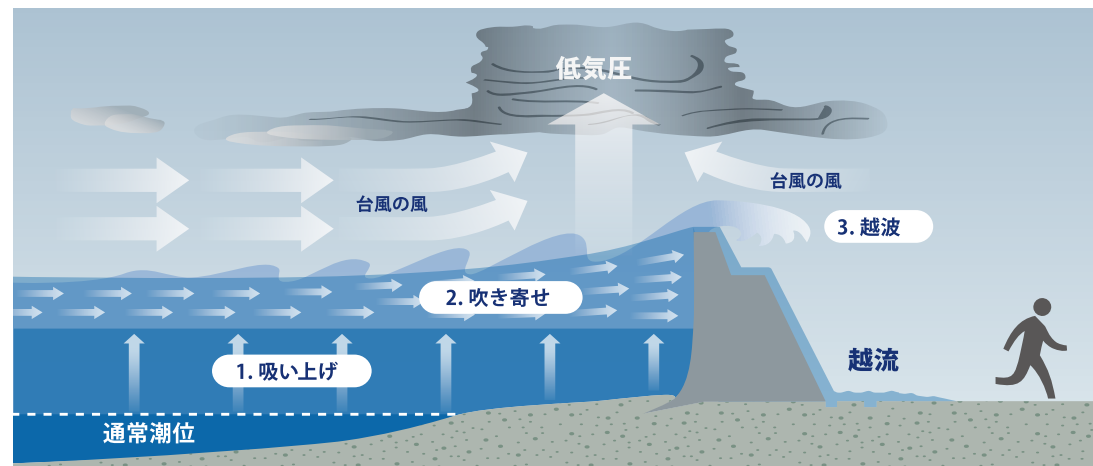
ハザードマップ



■ 高潮災害について

近年、地球温暖化により、海面水位の上昇、台風の凶暴化などがこれまで以上に激しくなることが懸念されています。台風が広島県の西側を通るときや発達した低気圧によって、海からの風が強くなり高潮が発生する危険があります。

▶ 高潮が発生するしくみ



低気圧や台風が近づいて来たらラジオやテレビで気象情報を確認しましょう。

気象による水位の上昇＝

1. 低気圧による吸い上げ + 2. 風による吹き寄せ

- 1 台風や低気圧の中心気圧は周辺よりも低いため、中心付近の空気が海面を吸いあげることにより、海面が上昇します。
- 2 台風による強い風が海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が上昇します。
- 3 大波が海岸に何度も押し寄せると、海水が沖に戻ることができず、岸の付近に多量の海水がたまり、海面が上昇して大量の波が侵入（越波・越流）してきます。



**台風発生の多い、
8・9月に注意しましょう!!**

高潮による海水侵入の速さは、時速40km～60km程度です。高潮が発生しそうな場合、浸水する前に避難することが重要です！

▶ 台風が来るまえに・・・

家の外の備え

- 窓や雨戸はしっかりカギをかけ、必要なら外から板を打ち付けて補強しましょう。
- 庭木に支柱をたてたり、塀を補強しましょう。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定するか、家の中に格納しておきましょう。
- 農薬など流出すると危険なものは浸水しないところに置きましょう。

家の中の備え

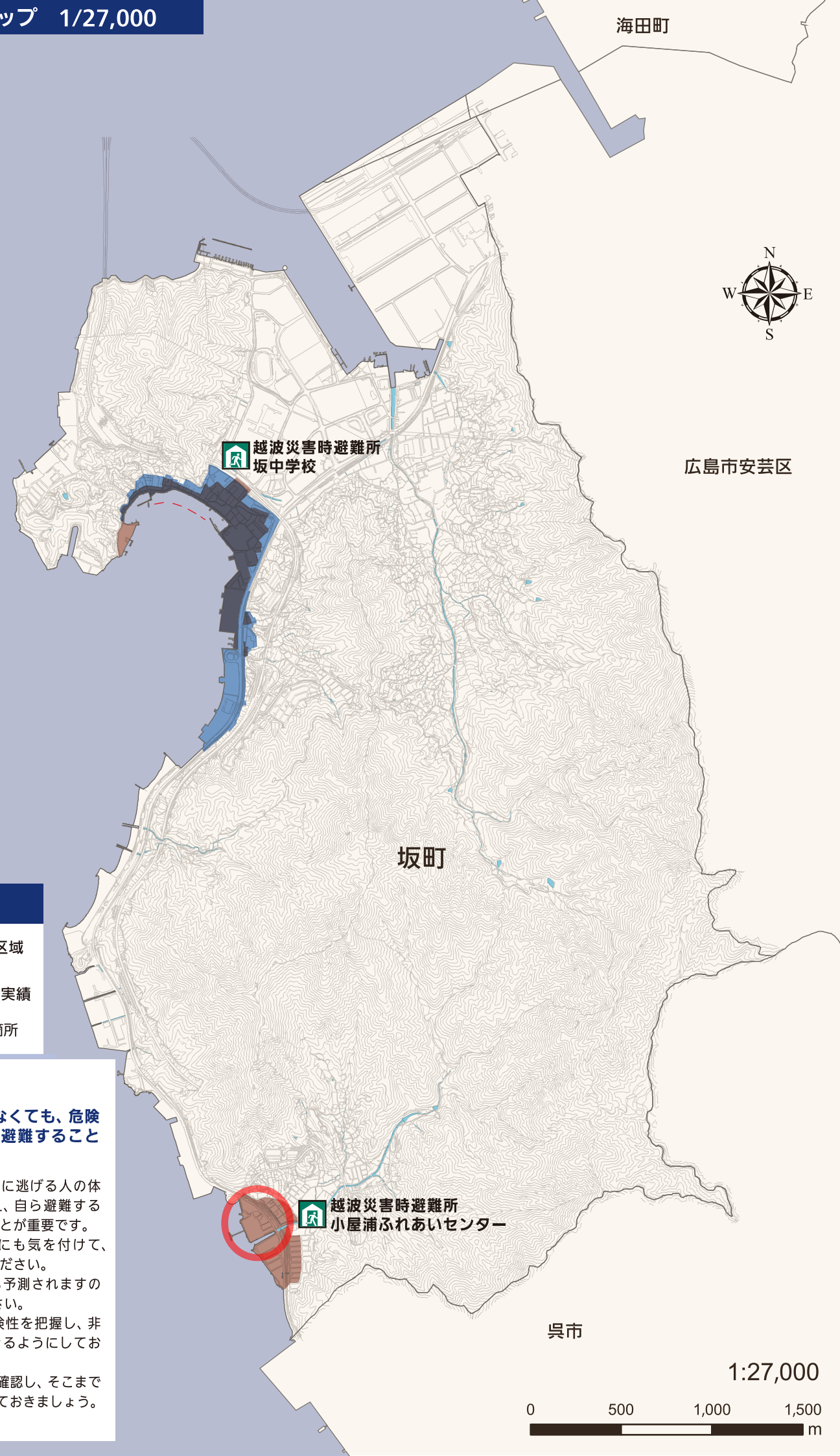
- 懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、貴重品、非常用食品(飲料水)、携帯ボンベ式コンロなどの持出品を確認しておきましょう。
- 雨戸をおろしたり、割れたときのガラスの飛散を防ぐために、ガラス窓にテープを貼ったりするほか、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておきましょう。
- 家具類、貴重品など水に浸かると困るものは、できるだけ高いところに置きましょう。

凡例	
	高潮浸水想定区域 (30年確率)
	H16.9.7 浸水実績
	両者の重なる箇所



避難勧告、避難指示がなくても、危険を感じたら早めに自主避難することが大変重要です！

- 風雨の状況、自分や一緒に逃げる人の体力、避難時間などを考え、自ら避難するタイミングを判断することが重要です。
- 自宅周辺の土地の状況にも気を付けて、早めの避難に心がけてください。
- 停電や道路の不通なども予測されますので、十分に注意してください。
- 自宅や勤務地周辺の危険性を把握し、非常時には迅速に行動できるようにしておきましょう。
- 非常時の避難所を家族で確認し、そこまでの経路もしっかり確認しておきましょう。



広島市安芸区

坂町

呉市

1:27,000

0 500 1,000 1,500 m

■ 備蓄について

坂町では、大規模災害に備え備蓄します。

▶ 現在の備蓄物資



- 哺乳瓶 ● 紙おむつ（乳児用 / 幼児用 / 成人用）
- 生理用品 ● 簡易トイレ ● 簡易間仕切り 等

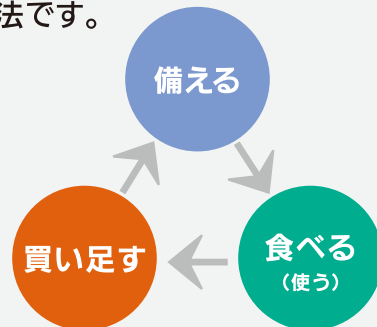
備蓄倉庫場所：

注）平成26年9月開館予定

Sunstar Hall（サンスターホール）

ローリングストック法

「家庭用備蓄は『1週間分以上』の確保が必要」と言われています。図のように、日にちを決めて、定期的にレトルト食品を消費し、その分をあらためて補充するという方法です。



■ 自宅などから近い避難所や連絡先を記入しておきましょう

家族（親戚・知人など）の名前		電話番号（会社・学校・携帯）など	

わが家の避難場所	家族の集合場所	非常持出品の置き場所	常用薬の置き場所

防災行政無線による放送内容をテレホンサービスで聞くことができます。

避難所を開設したとき等に、町は防災行政無線で町民へ周知します。

聞き取れなかった場合でも、テレホンサービスで放送内容を聞くことができます。

電話番号：082-884-2500

災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認することができます。

災害用伝言板（Web171）とは、インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板のことで、パソコン、携帯電話、スマートフォンなどから利用することができます。

<https://www.web171.jp>



いざというときの連絡先

～危険箇所を発見した時や避難所情報等についての役場連絡先～

- 環境防災課・・・082-820-1506
- 都市計画課・・・082-820-1513
- 宿直（夜間・休日）・・・082-820-1500
- FAX 番号・・・082-820-1522
- 産業建設課・・・082-820-1512
- 総務課・・・082-820-1510 / 082-820-1500
- テレホンサービス・・・082-884-2500

最高津波水位(3.6m)※
津波の高さ(1.5m)※

年間最高潮位

T.P.(海抜)0m

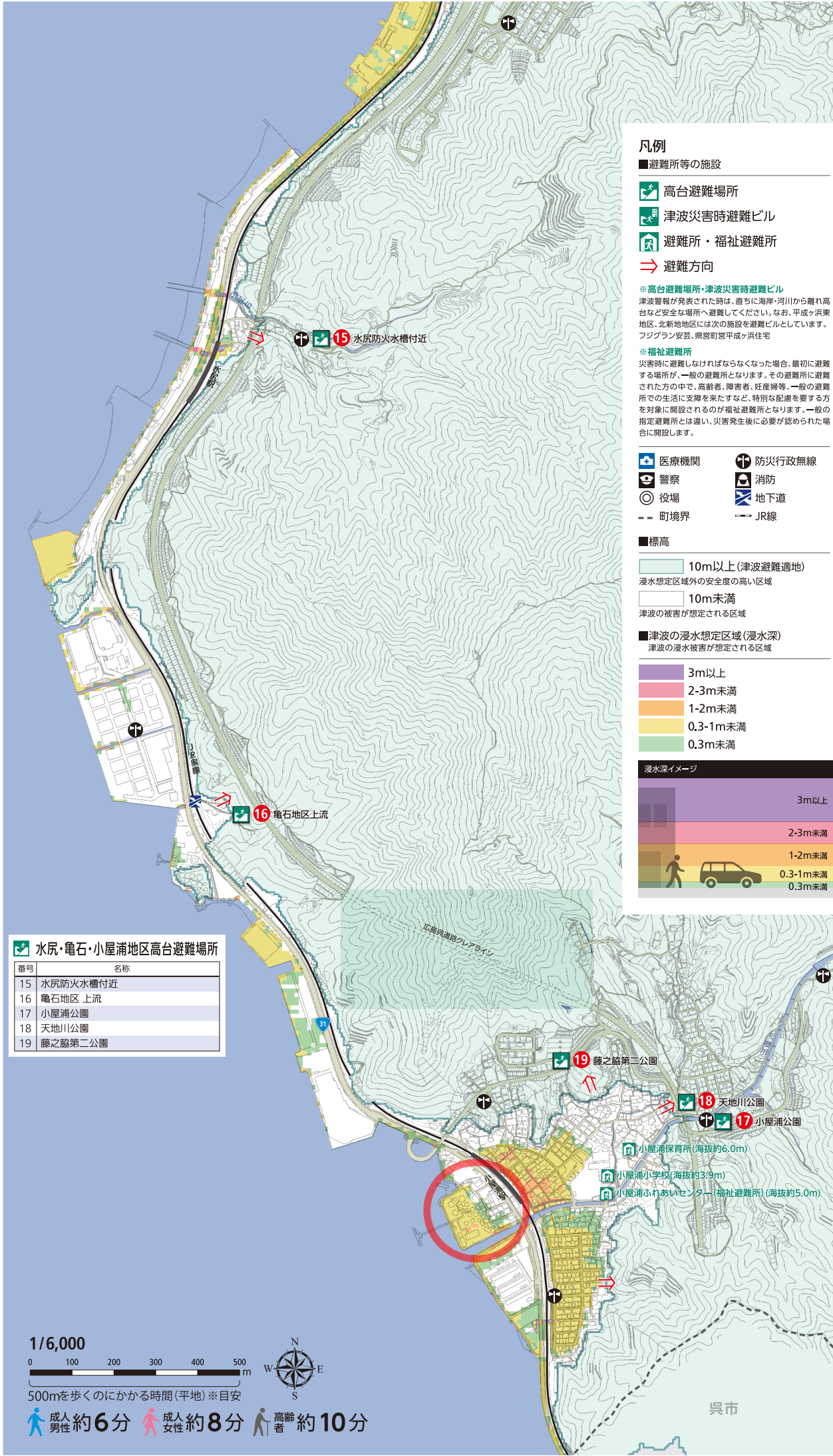
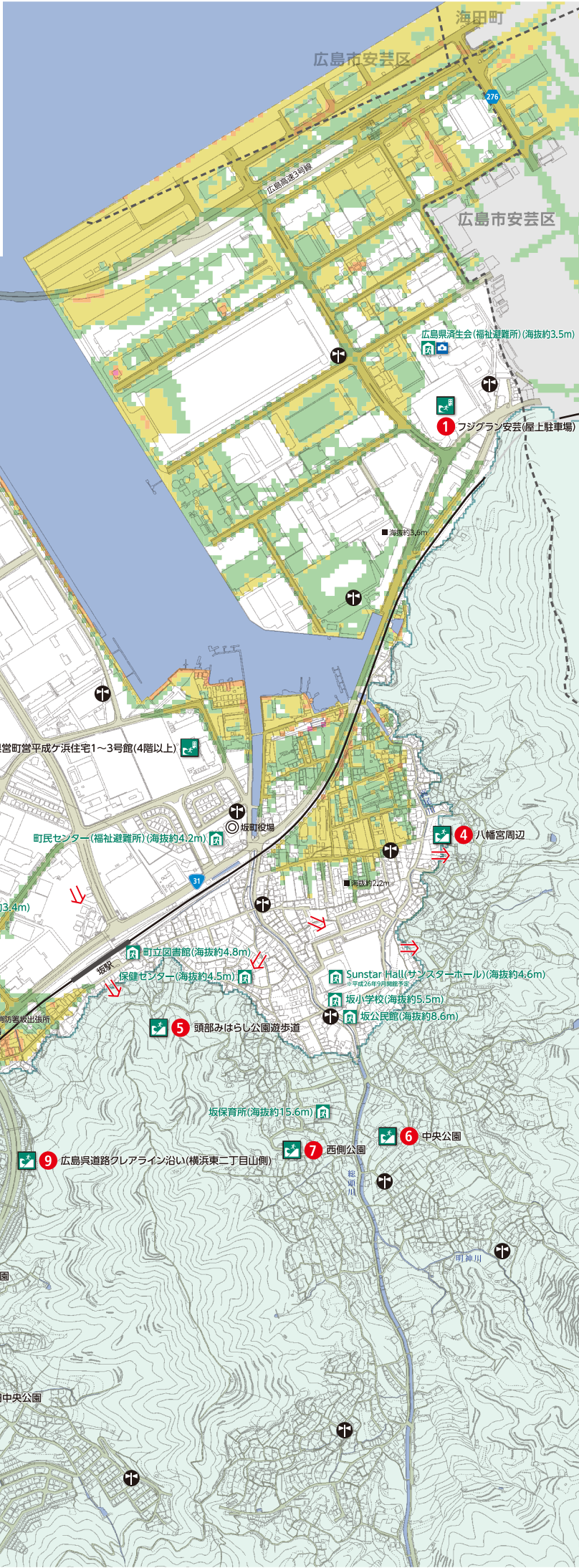
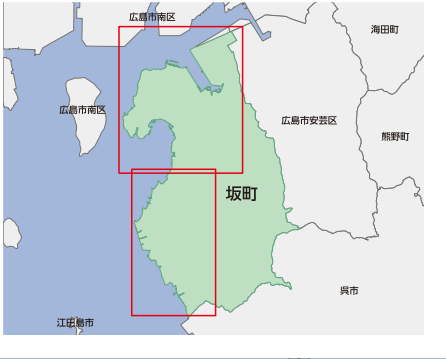
浸水区域(浸水深着色部)

地震前の堤防

浸水深

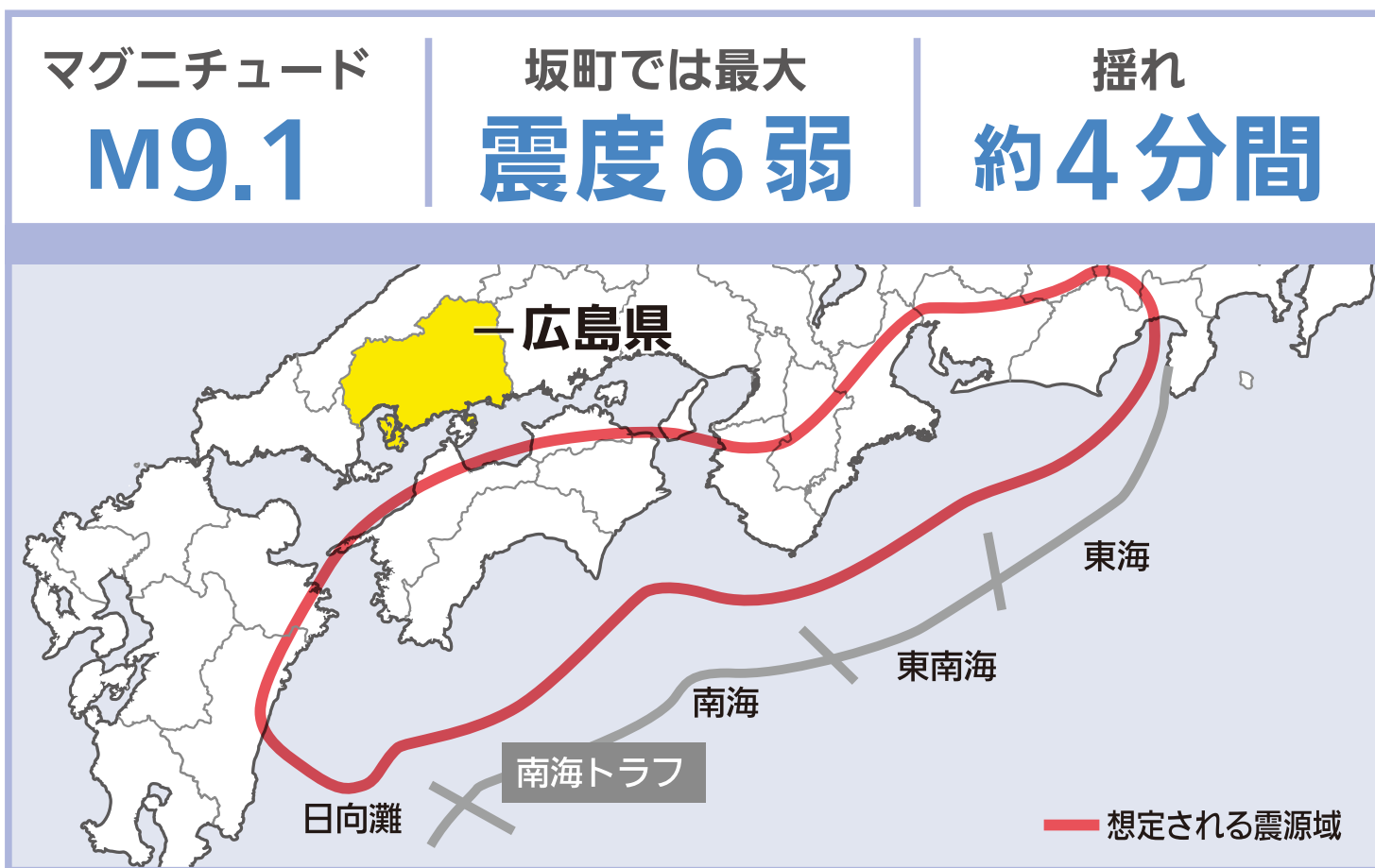
地盤

地震後の堤防(地震前の25%の高さまで沈下)



❖ 坂町で想定される南海トラフ巨大地震について

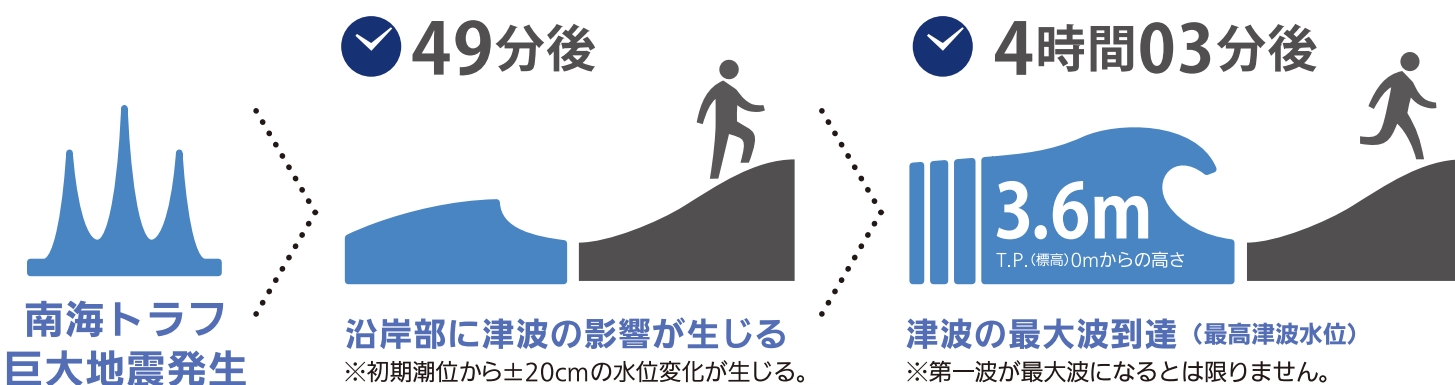
南海トラフを震源とする巨大地震では、坂町沿岸部を襲う巨大津波が発生すると想定されています。



広島県内において、大きな被害をもたらす地震の一つとして、南海トラフを震源とする南海地震があります。過去に発生した南海地震は、いずれも東南海地震と同時、または東南海地震の発生後2年以内に発生しており、おおむね100～150年周期で発生しています。

▶ 坂町沿岸部において津波の影響が出るまでの想定時間

巨大津波が発生してから沿岸部に±20cmの潮位の変化が出る時間と、津波の最大波が沿岸部に到達する時間は、違うことがあります。



❖ 津波警報等の種類

気象庁は、地震が発生したときには地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分（一部の地震については最速2分程度）を目標に、大津波警報（特別警報）、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

	予想される津波の高さ 平常潮位からの津波で変化した波の高さ		想定される被害	高さのイメージ
	数値での発表 (高さ予想)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報 (特別警報)	10m超 (10m～)	巨大	木造家屋は全壊、流失し、多くのガレキや船舶なども陸上に押し流され、さらに多くの家屋が流失します。	
	10m (5m～10m)			
	5m (3m～5m)			
津波警報	3m (1m～3m)	高い	家屋の浸水被害や流出。木造家屋は2mの浸水で全壊、流出します。(内閣府データより)	
津波注意報	1m (20cm～1m)	表記しない	養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆します。	

❖ 津波避難施設に適した建物

- 昭和57年以降に建てられていること
- 鉄筋コンクリート構造物
- 3階以上であること



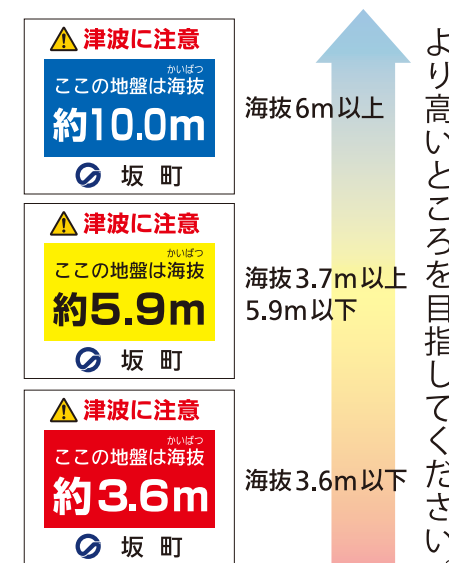
坂町では、想定外の大津波に備え、海拔の低い地区の方が、高台まで避難することが困難な場合を想定し、緊急的に一時避難できる場所（津波避難ビル）の確保に努めています。津波災害時避難ビルについて、ホームページや「広報さか」にて随時、公表していく予定です。

❖ 町の連絡体制（気象予報・警報等の伝達経路）



❖ 海拔表示看板

海拔に応じて赤／黄／青の3色で設置しています。



※災害は想定を超えて起きることもありますので、避難の目安としてください。

津波から命を守るために

ポイント マップで自宅や家族に関する場所の浸水深を確認しましょう。地震・津波から命を守るために、いざというときの行動や避難の方法を普段から想定し、適切に避難をしましょう。

